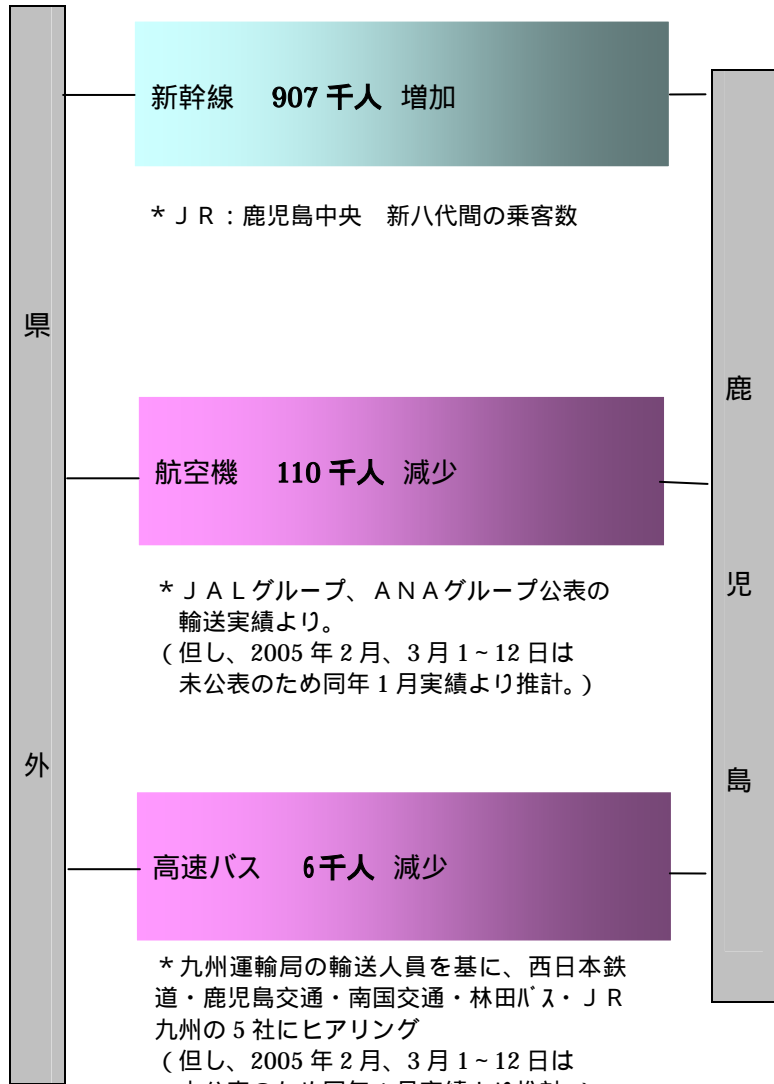


九州新幹線の県内への経済波及効果 (開業後1年)



居住地別旅客数(年間平均)

	利用者数(千人)	割合(%)
鹿児島県	356	45.1
県内移動	126	15.9
県外移動	230	29.1
他県	434	54.9
福岡県	215	27.2
熊本県	88	11.2
佐賀県	13	1.7
その他九州	22	2.8
九州外	95	12.0
全体	791	100.0

* 前回調査(開業3か月後)と今回調査(12か月後)のデータから“6か月後”時点を推計し、これを年間居住地割合とした。

県外割合 54.9% = 県外者 増加客数 434千人

県内割合 29.1% = 県内者 増加客数 230千人

県内移動者(鹿児島中央 川内・出水間 15.9%)は除く

県内経済効果額

県外者 1人当り消費額 22,100円 × 434千人 = 96億円
 県内消費増加額(直接効果) 96億円
 直接・第1次効果 137億6千万円 + 第2次効果 28億1千万円 = 経済効果総額 165億7千万円

内訳: 宿泊費	6.7 千円
飲食費	4.9 千円
二次交通	1.8 千円
施設入場料	0.2 千円
土産品	8.5 千円

(前回調査時(2004.7)データより)

県外での消費増加額

県内者 1人当り消費額 21,000円 × 230千人 = 48億4千万円
 県外消費増加額 48億4千万円

内訳: 買物	12.0 千円
宿泊費	4.5 千円
飲食費	4.5 千円

(前回調査時(2004.7)データより)

県内経済効果額 165億7千万円

アンケート概要

- 調査日 : 2005年3月11日(金) 12日(土) 13日(日) 16日(水)の計4日間
- 調査対象 : 九州新幹線乗客の無作為抽出
- 調査場所 : 鹿児島中央駅新幹線コンコース
- 回答数 : 1,371件